

「東アジアでの都市間競争 カジノなしで観光は勝てない」

北谷賢司 ロケーション・エンタテインメント学会副会長

日経アーキテクチュア 2014年4月25日号 掲載

IR 日本進出の検証を進めている米国ラスベガス 4 大カジノ会社の見解を統合すると、最低 1000-3000 室規模のホテル、小規模コンベンション施設、スロットマシンとテーブルゲームのための適切なスペース、ハイエンドの最新ブランドを集めたショッピングセンター、ライブ・エンターテインメント施設、そして著名ブランドのスパやフィットネスが必要。日本に 3-5 か所の IR が出来た場合の合計売上高は 1 兆 5000 億円と予測している。

IR は、ハイローラーを集客するための特殊でハイレベルなエンターテインメントを提供する。たとえば、タイガーウッズを呼ぶ企画をハイローラー向けに作り、最低でも 2 億円をチップに変えてもらう条件とすれば、40 組で 80 億円がカジノで使われる。これは他のエンターテインメント施設ではできない。

法案が通り、開発が順調に進めばオリンピック後の訪日客の落ち込みを IR でカバーできる。カジノがないと東アジア周辺で日本だけが観光資源のキーエレメントがない状態に取り残される。

プロジェクト エコシティ
誌面成立なら2020年にもオープン
**東アジアでの都市間競争
カジノなしで観光は勝てない**
北谷賢司
IR 日本進出の検証を進めている米国ラスベガス 4 大カジノ会社の見解を統合すると、最低 1000-3000 室規模のホテル、小規模コンベンション施設、スロットマシンとテーブルゲームのための適切なスペース、ハイエンドの最新ブランドを集めたショッピングセンター、ライブ・エンターテインメント施設、そして著名ブランドのスパやフィットネスが必要。日本に 3-5 か所の IR が出来た場合の合計売上高は 1 兆 5000 億円と予測している。